

絵本・芸術 ご担当者様

12.21 発売
お待たせしました!



三輪舎
自動配本なし



文・末沢寧史

絵・小林豊

ぼくたちは、
このまちで
であったんだ

海峡のまちのハリル

『せかいいちうつくしいぼくの村』の絵本作家・小林豊による待望の最新絵本!

二十世紀初頭、かつて世界の中心といわれたオスマン帝国が黄昏の時代を迎えていた。その都である（海峡のまち）で、トルコ伝統のマーブリング紙（エブル）をつくる職人の孫ハリルと日本人の貿易商の息子たつきが出会う。
「エブル」をつくる工房の家に生まれ育った少年ハリルは、周囲の友だちは新設された学校へ行っているのに、工房の親方である祖父のもとで下働きする毎日。一方、日本からやってきた貿易商の息子たつきは、異国の不慣れた土地で折り紙遊びで暇を持て余している。そんなふたりが海峡のまちで出会い、友情を深め、おたがいの感性をとおして、この街に生きる自分を見つめ直していく。

ブーム到来 オスマン帝国・トルコ好き必読

書誌情報

価格 2700 円+税
発売日 2021 年 12 月 21 日
ISBN 9784990811679 C8743
判型 A4 横変形 / 60 ページ / 上製
装丁 矢萩多聞
印刷 藤原印刷
製本 松岳社
本文特色印刷・UV 印刷
対象年齢 小学生高学年～大人まで

作者について

小林 豊（絵） / 1946 年、東京生まれ。立教大学社会学部卒業後、イギリス留学中に画家を目指す。1970 年代初めから 80 年代初めにかけて中東やアジア諸国をたびたび訪れ、その折の体験が作品制作の大きなテーマとなっている。主な作品に、『せかいいちうつくしいぼくの村』、『ぼくの村にサーカスがきた』、『えほん北緯 36 度線』、『えほん 東京』などがある。

末沢 寧史（文） / 1981 年、札幌生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科卒業。同大学院在学中、トルコ共和国ボアジチ大学に留学。帰国後、取材執筆活動を本格的に始める。絵本作家・小林豊のもとで絵本づくりを学び、本作が初の作品となる。

ポイント①

絵本作家・小林豊さん待望の最新作です。小学4年生の教科書にあるアフガンを舞台にした絵本『せかいいちうつくしいぼくの村』をはじめ『えほん東京』（ポプラ社）、『ぼくの家から海がみえた』（岩崎書店）などの作品で根強い人気があります。

ポイント②

表紙はクラフト地に白の箔押しを施した題字でとてもインパクトのあるデザインです。クラフトを使用しているのは海峡のまちから届いた小包を模しているため、その上から手作業で切手を貼り、消印を捺したひとつとして同じものがない特別加工をしています。

ご注文は TRC ほか全国の書店にて可能です。
お問い合わせは以下の連絡先までお気軽にどうぞ。



三輪舎

(E-mail)
info@3rinsha.co.jp
(FAX)
045-947-3696

施設名

ご注文数

ご担当者様

部

〒222-0011 神奈川県横浜市港北区菊名1-5-9 本屋の二階
TEL 945-947-3686 <http://3rinsha.co.jp>